



# やらまいか

例会日/毎週火曜日 12:30 例会場/豊川商工会議所

会長/高桑 耐 幹事/大木健市 会報委員長/池田 弘

事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889

HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

## クラブテーマ: ENJOY ROTARY 絆、みんな仲良く、クラブの未来へ

本年度第37回 通算1291回 平成25年3月26日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	3/25 修正出席率
		58名	34名	64.2%	93.8%

ゲスト: 市内5高校の生徒29名、教諭6名 ビジター:(なし)

### ★会長あいさつ

#### 高桑 耐会長



こんにちは。桜が例年より一週間早く咲き始めました。高校野球も始まり、この時期は、若い人たちが活躍し、若い人たちが主

役の季節だといつも感じています。

今日は、大勢の高校生の皆さんの一年間のボランティア活動の発表があり、とても楽しみにしています。

昨日、大木幹事と二人で、豊川 RC の台湾高雄市の岡山扶輪社との姉妹締結更新例会に出席させて頂きました。当クラブの国際交流事業の参考にさせて頂くために参加をさせて頂きました。現在は、5年に一度の姉妹締結の更新をされているようで、今回は岡山扶輪社の皆さんが日本に来日されての更新だそうです。5年後に更新するならば、豊川 RC が訪問をされる予定だそうです。双方の親善を深める非常に和やかな雰囲気でした。来週、当クラブも台湾から大勢来られますので、和やか雰囲気国際親善が出来たら良いと思いますし、当日は大勢の会員のご出席を改めてお願いしたいと思います。

### ★幹事報告

#### 大木健市幹事

例会臨時変更のお知らせ  
被災高校生支援プロジェクトについて  
高校生へ激励の色紙記入のお願い  
次回の例会について

### ★委員会報告

雑誌広報委員会(河本圭史委員長)  
ロータリーの友3月号の紹介  
国際奉仕委員会(大島嗣雄委員長)  
台湾の来訪歓迎会について  
親睦委員会(土井昌司委員長)  
春の行楽開催について

### ★新世代奉仕委員会担当例会

#### 委員長あいさつ

#### 藤原規彰委員長

こんにちは。本日は、春休み中にも関わらず、また学校行事で何かとご多忙の中を各高校の先生方、生徒の皆さんには当クラブの例会にご出席頂きましてありがとうございます。



一昨年(2011)の3月11日に、東日本大震災が発生し、今年で2年が経過をしました。私も今月の初めに現地に行って参りましたが、復興とは程遠い現状を目の当たりにして参りました。このような中で、皆さんの地道な活動が現地の皆さんの力になっていると思います。これからも継続してボランティア活動に取り組んで頂きたいと思っておりますし、また、この活動が広がっていくことを願っております。

では、各校の今年度の活動について報告頂きます。よろしくお祈りいたします。

## ◎国府高校の活動発表



我々生徒会が後期に行ったボランティアは、赤い羽根募金、学校周辺美化ボランティア、国府の市ボランティアです。

赤い羽根募金は2日間行いました。活動の結果80,185円集まり、愛知県共同募金会豊川市支会に納入しました。この活動についての説明が不十分だったので、募金額が極端に少ないクラスもありました。期間が2日間しかなかったことも反省しています。次回は、まず1年生を対象に説明を工夫し、そのためのマニュアルも準備したいと思っています。

学校周辺美化ボランティアを12月5日に行いました。国府高校から国府駅までの区間を中心とした学校周辺の清掃をしました。反省としては、参加者の大半が部活動からの強制参加で、個人の有志の参加者があまりいなかったことです。そして、実際に清掃した場所が学校と駅の間だけで、他の生徒が通学路として使っている道路などは、全く活動が出来なかったのが残念でした。次回は、案内や応募方法を工夫し、特に個人の参加者が多くなるようにしたいです。清掃区間も今回出来なかった区間も出来たらと思っています。

2月11日に国府の市のボランティアを行いました。国府の市は、学校近くの商店街のイベントです。内容としては、イベント会場の設営や運営、そして吹奏楽部が会場で演奏をしました。参加者は、生徒会、吹奏楽部、個人有志の参加でした。反省としては、個人有志参加者が極端に少なかったのが、次回は、より多くの生徒が参加できるように呼びかけをし、地域により貢献出来るようにしたいです。生徒会としては、初参加だったので、今回の反省を活かして次回も継続して参加できるようにしたいと思います。

全体を振り返って、どの活動においても説明不足や案内の不十分のミスがあり、個人参加者が少なかったです。その点を改善して、今後はより多くの方がボランティア活動に協力できるようにしたいです。ボランティア活動の結果は、ある程度出ていると思われるので、今後も維持発展をさせて行きたいです。

## ◎豊川工業高校の活動発表



我がボランティア部は、1年生9人、2年生10人で活動をしています。主な活動は、子どもモノづくり教室、小学校・保

育園訪問、豊川市防災訓練、ふれあいフェスティバル出展、キャンドルナイト、その他に地域のお祭りなどのお手伝いをしています。また、その活動を通して、ホテルの里と豊川市長より感謝状を頂きました。

夏休みに小学校と保育園を訪問して、貝殻や紙に絵を書いてもらいました。その作品をキャンドルナイトで使用する、キャンドルホルダーに貼ったり、オブジェに使用させてもらいました。

豊川市の防災訓練にも参加させてもらいました。訓練では、非常食の炊き出し、防災グッズの作製、簡易トイレの設置、名簿の作成などを体験しました。

月に1度、小学校4年から6年生を対象として、プリオで行われている豊川少年少女発明クラブ主催の子どもモノづくり教室に参加させて頂き、講師の方々と一緒に子ども達にモノづくりの楽しさや楽しさを教えています。教室に参加した回数により博士号が贈られるのですが、その時に贈られる作品を私たち部員が製作をしています。1回目が旋盤で製作したコマ、2回目が電子サイコロ、3回目が溶接で作ったオブジェです。1回目が10名、2回目が3名、3回目が1名でした。

キャンドルナイトとは、年に一度、豊川市総合体育館前の広場で行うボランティア部の一大イベントです。約2,000本のキャンドルを使用して、一つの文字を描きます。昨年度は「願」という文字を描きました。この文字には、願いを叶えるために努力することで、物事を前向きに考えることができたり、毎日がかけがえのないものになるのではないかとという意味が込められています。当日は、一人一人が自分の役割を果たし、無事に「願」という文字を完成することが出来ました。それにより、部員の意識が高まり、キャンドルナイトを成功させることが出来ました。来年度の文字は「繫」に決まりました。成功させる

ことが出来るように、これから活動を頑張っていきたいと思えます。

豊川市制 70 周年行事で、豊川生涯学習フェスタに参加させて頂けることになり、小学生を対象とする工作教室を行います。日頃、子どもモノづくり教室で講師として小学生にモノづくりを教えているので、緊張せずにも通りに楽しくモノづくりを教えていけたらと思っています。来年度は、新1年生を迎えるの活動となるので、新年度も部員全員で頑張っていきたいと思っています。

## ◎宝陵高校の活動発表



平成24年度は、4月のあしなが学生募金から始まり、豊川リレーマラソンや豊川市平和祈念式典、豊川

社会福祉法人などの施設や病院での夏祭りやクリスマス会の行事などに参加しました。今度の3月31日には、穂の国豊橋ハーフマラソンの救護ボランティアの参加予定をしています。今年度の活動には延べ197名が参加しました。

今年度のボランティア活動について、生徒の感想をTwitterでつぶやいてもらい、まとめてみました。

夏祭りのボランティアに参加した人の感想です。普段触れ合う事のない様々な年代の方と交流することが出来て良い経験になりました。施設の方だけでなく、地域の方や子ども達とも交流ができ、参加された方がとても楽しそうでボランティアのやりがいを感じる事が出来ました。マジックバレーの作り方を子ども達に教えるのには苦労しましたが、伝え方を工夫して楽しく一緒に作る事が出来ました。小さい子ども達やお年寄りの方と交流でき、とても楽しかったです。今しか体験できない屋台の手伝いをし、実習とは違う形で、人との触れあい方を学ぶことが出来た。

マラソンのボランティアに参加した人の感想です。知らない人でも手を振って応援して、人っていいなと改めて感じました。最後のゴールの瞬間に会場が一体となり応援していて地域のつながりを感じる事が出来ました。走っている最中でも、ランナーの方が笑顔

向けてくれたり手を振ってくれたりして嬉しかったです。様々な年齢の方に「お疲れ様です。」「頑張ってください」と声を掛けてもらい嬉しかったです。

他のボランティアに行った人の感想です。あしなが募金に参加し、あしながについて学ぶことが出来、多くの方に協力して頂き感謝しました。また、パンフレットを受け取ってもらえず、辛い思いもしましたが、受け取ってもらえた時は、この活動に参加して良かったと思いました。夏に行われたボランティアの報告会に参加して、他の学校の活動状況を知ることが出来ました。それを学校での活動の参考にしました。

活動参加全体のまとめ。この学校に入って初めてのボランティア体験で不安もありましたが、皆さんが優しく指導して下さいだったので、楽しく活動することが出来ました。ボランティア活動を通して、人と人とのつながりを感じることができ良い機会になりました。

全体の活動を通して、明るく笑顔で取り組むことが出来ました。夏祭りやマラソンのボランティアなど地域の人たちと関わる機会が多くコミュニケーションの場所を広げることが出来ました。

宝陵高校のボランティア・スピリットは2つあります。1つ目は、いつでも相手の立場になって考えることです。相手の方と話をすることで、何を必要としているか理解するようにしています。2つ目は、明るい雰囲気です。相手の方にとって私たちの笑顔が少しでも癒しになるように心がけています。この二つを実践するために、私たちは対話と明るさを大切にしています。人は誰かと話をすることで、お互いを理解しています。最近は携帯電話のメールやSNSなど、相手を見ずに交流することが多いです。しかし、ボランティアでは、相手の方を目の前にして、その場の雰囲気や状況を読み取りながら話をします。相手が受け取るメッセージの90%以上は、手振りや顔の表情などの非言語的な部分だと言われています。人と直接触れ合うときには、話の内容は勿論、明るい笑顔や優しい態度が大切です。それにより、相手の気持ちを上手にくみ取り、こちらの誠意やおもいやりを伝えることが出来るからです。私たちは、様々な方と接しとても良い経験をさせて頂きました。これまでの活動から沢山の事を学ぶことが出来たと感じています。

## ◎豊川高校の活動発表



豊川高校では、ボランティア活動に力を入れていて、生徒会内でもボランティア部局を作っています。多くの活動をしていま

すが、その中の2つの活動を発表します。

一億円募金活動とは、父子家庭、母子家庭、突然の親のリストラや自営業の倒産といった私たちにはどうすることも出来ない経済的な理由で行きたい学校に行けない、今通っている学校を辞めなくてはならない、そういった人たちに年間12万円を無利子で貸し出している活動です。私立高校の学費は高いのが当たり前と思われる方も多いと思います。しかし、私立高校の学費が高いのは、授業自体にお金が掛っているとか、冷暖房などの設備が整っているとか、そういったことではなく、単純に国や県からの支給されている助成金の額が公立高校に比べ少ないからこういったことが起きています。更に、憲法では、教育は公平であると定められているので、私立高校と公立高校の助成金の格差の問題は、私たち高校生にとって重要な課題となっています。そこで、私たち豊川高校生徒会が積極的に募金活動を行っています。後期は、今まで3回の募金活動を行ってきました。

第1回目の活動は、1月3日に豊川稲荷の門前で行いました。当日は参拝客で賑わっていたお蔭もあって34,578円集めることが出来ました。呼びかける内容が不十分であったという反省点もありますが、全体的には成功したと思います。第2回の活動は、1月13日に豊橋中央高校の生徒会と自主活動部、高フェスの皆さんを招いて、1日研修という行事の中で行いました。「高フェス」とは、「高校フェスティバル」のことで、愛知県の私立高校の生徒会を中心とした団体の事です。高フェスの皆さんが定期的に行っている私立高校の全体会や、その他の行事には私たちも積極的に参加をしています。その会の中で、それぞれ活動を報告し合い、他校の方々と交流を深めました。午後には、豊川稲荷の門前で募金活動を行いました。大勢で行った結果116,209円ものお金が集まりました。この金額

には、高フェスの皆さんも驚いていました。第3回目は、3月16日に行いました。これまでの2回と比べると人は少なかったにも関わらず34,614円集めることが出来ました。

豊川高校では、たくさんの部活動がボランティア活動を行っています。主な活動としては、施設の方々と交流会に軟式野球部、インターアクト部、将棋部が参加。清掃活動に登山部、卓球部、インターアクト部、文芸部が参加。ステージ発表に和太鼓部、吹奏楽部が参加。新歓フェスやBIGフェスにチアリーダー部、和太鼓部、演劇部が参加。その他、空手道部、美術部、茶華道部、ダンス部も様々な活動を行っています。ここまで多くの部活動が積極的に活動をしている学校は多くないと思います。これらの活動が地域の方々の力になればと思います。

ボランティアを通して、地域の方々と交流と繋がりを深めていき、地域の活性化に役立てることが出来たらと思っています。そして、これらの活動を豊川高校の伝統として受け継いでいくために、生徒会の方でもボランティア活動を勧めていくつもりです。

## ◎小坂井高校の活動発表



私たちは、他校の皆さんと比べますと、あまり多くのボランティア活動には参加することが出来ませんでした。

その分、一つ一つの活動に精一杯努力していきました。本日は、善意フェスティバル、赤い羽根共同募金、クリーン大作戦、保育園訪問のボランティア活動について報告します。

5月27日に豊橋総合動植物公園で行われた善意フェスティバルに参加しました。私たちは、豊橋鉄道さんとお手玉ダーツを、三菱レーヨンさんと自作紙ヒコーキ的入れを担当しました。自作紙ヒコーキ的入れは、子どもたちに自分で紙ヒコーキを作ってもらい、それを飛ばして得点の書かれた的を狙うというシンプルなルールでしたが、シンプルでしたが、子どもたちはとても楽しいでいました。作り方がわからない子に一つ一つ手順を説明しながら、紙ヒコーキを作っている姿は、とても真剣でした。こんなに手軽に出来る遊びで笑

